

常勤役員の公募による選任結果について

このたび当協会では、役員選任におけるより一層の透明性及び適正化を図るため、常勤役員候補者の公募を行いました。その選考の経過、結果及び選定理由は以下の通りです。

1. 選考経過

(1) 公募の選定方法

従前の候補者の公募・選定の方法及びそれらのスケジュール等について承認。特に、候補者選定のための選考委員会について、協会の正副会長4名で構成することを決定。

(2) 公募の方法及び期間

①方法：協会 HP 及び事務所内掲示による

②公告期間：令和8年4月1日～令和8年4月23日

(3) 選考委員会の開催

公募の結果、1名の応募があり、以下の通り選考委員会を開催し、常勤理事候補者を選考。

①日時：令和8年5月21日

②審査の方法：応募資格等の書類審査

(4) 理事会の承認

令和8年5月21日の令和8年度第1回理事会において、選考委員会から、選考結果を報告するとともに、選考した常勤役員候補者を次期理事候補者として承認。

(5) 定時総会、理事会で選任・選定

①令和8年6月5日の第28回定時総会において、当該理事候補者を理事として選任

②さらに、総会後の令和8年度第2回理事会において、専務理事(業務執行理事)として選定

2. 選考結果

上記1. の手順に基づいて、次の者が専務理事(業務執行理事)に選定されました。

(1) 氏名、年齢 田中 寿一（たなか じゅいち） 65歳

(2) 就任年月日 令和8年6月5日

(3) 前職 一般社団法人日本畜産副産物協会 専務理事

3. 選定理由

当協会は、畜産副産物の流通の近代化、生産の合理化及び消費の拡大等を促進し、もって国民生活及び畜産の発展に寄与するとともに、会員及びその組合員等に共通する利益を確保するため、自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることなどを目的としています。

このため、当協会の専務理事には、

(1) 農林水産業とりわけ当協会の業務と関連の深い畜産業に関する十分な知見と経験を有していること

(2) 協会の事業である畜産関連の事業及び中小企業の経営改善の事業等の推進に当たり、協会事務局の業務を統括し、指導的役割を果たすことができること

(3) 関係省庁、独立行政法人、地方自治体、畜産関係及び消費者関係団体等との折衝、調整さらにはマスコミ対応等が適切にできる十分な能力と経験を有していることなどが求められます。

今回の公募に応じた伊藤氏については、書類審査及び当協会でのこれまでの勤務実績から判断し、上述の当協会が求める専務理事候補としてふさわしい者として選定されました。